

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【公開番号】特開 2011-35882 (P2011-35882A)

【公開日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-007

【出願番号】特願 2009-183265 (P2009-183265)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 3 B 17/00 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/225 F

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/00 K

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 4 月 8 日 (2013.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 光学系により形成された第 1 画像を撮像可能な第 1 撮像部と、

前記第 1 画像を表示可能な表示画面と、

前記表示画面に対向する物体の像を形成可能な第 2 光学系と、

前記第 2 光学系により形成された第 2 画像を撮像する第 2 撮像部と、

前記第 2 画像を用いて撮影者に関する情報を取得し、前記情報に基づいて前記表示画面の表示を制御する制御部と、

前記第 1 撮像部を用いて撮像をするために撮影者が操作可能な操作部と、を含み、

前記制御部は、前記操作部が操作される前か後かに応じて前記表示画面の表示を異ならせるように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された撮像装置であって、

前記制御部は、前記操作部が操作される前に取得された前記第 2 画像に、前記撮影者の顔が含まれていたとき、前記第 1 撮像部に取得させた動画像を前記表示画面に表示するように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載された撮像装置であって、

前記制御部は、前記操作部が操作される前に取得された前記第 2 画像に、前記撮影者の顔が含まれていたとき、撮影の設定に関する情報を前記表示画面に表示するように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 4】

請求項 1 から請求項 3 までの何れか 1 項に記載された撮像装置であって、

前記制御部は、前記第 1 画像が撮像された後に取得された前記第 2 画像に、前記撮影者の顔が含まれていたとき、前記表示画面に前記第 1 画像を表示するように制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 までの何れか 1 項に記載された撮像装置であって、
前記制御部は、前記第 2 画像を用いて前記表示画面と前記撮影者の顔との距離を演算し、前記距離に応じて前記表示画面の輝度を制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 までの何れか 1 項に記載された撮像装置であって、
装置の姿勢を検出する姿勢検出部を有し、
前記制御部は、前記姿勢検出部により検出された姿勢、及び、前記第 2 画像を用いて前記表示画面の表示を制御することを特徴とする撮像装置。

【請求項 7】

第 1 光学系により形成された第 1 画像を撮像可能な第 1 撮像部と、
前記第 1 画像を表示可能な表示画面と、
前記表示画面を駆動させる駆動部と、
前記表示画面に対向する物体の像を形成可能な第 2 光学系と、
前記第 2 光学系により形成された第 2 画像を撮像する第 2 撮像部と、
前記第 2 画像を用いて撮影者に関する情報を取得し、前記情報に基づいて前記駆動部を制御する制御部とを含むことを特徴とする撮像装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載された撮像装置であって、
前記制御部は、前記第 2 画像を用いて前記撮影者の動きを検出し、前記撮影者の動きに応じて前記表示画面が駆動するように前記駆動部を制御することを特徴とする撮像装置。